

桜の聖母短期大学
親と子の広場

小さなクラスの

🍒 さくらっこだより 🍒

火・金曜日

2月号

年末から、インフルエンザやRS ウィルスに罹患したという話も聞かれました。子どもの体調は、あっという間に変化していきます。注意深く見て、早めの対応を心掛けたいですね。新年最初の再会では、「風邪引いていなかった？」が挨拶のように、お互い気に掛けて、また一緒に遊べることを喜んでいました。

学生も毎回たくさん参加させていただき、子ども達と触れ合わせていただいただけでなく、保護者の皆様にお話を聞かせていただき、実践的に理解を深めていたようです。1月末から試験が始まり、2月に入ると1年生は10日間の保育所実習が始まります。2年生は、卒業を残すのみです。2年間の学校生活の思い出と共に、親と子の広場で出会った子ども達や保護者の皆様のことも忘れられない出来事になっていると思います。

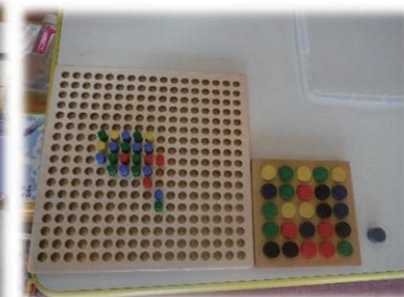
3月は、学校の都合で（火）（金）はお休みになります。（土）は、開催していますので、ぜひご参加ください。4月、また大きくなったみなさんにお会いできることを楽しみにしています。



冬休みを終え、久しぶりの再会！（待ち遠しかったわ～）

しっかりお座りができる様になったFちゃん（8か月）とYくん（7か月）に驚き！欲しいものをしっかり見て、手を伸ばして自分で掴む。この成長にも感動！

「Fちゃん、はいはいもするようになったんですよ」とお母さん。



並べる・並べる・・・子どもは、ものを並べるのが好きですね。

砂場の縁に砂団子を並べたり、小石を並べたり。もうひとつ、もうひとつと置く毎に、その方向性を持ったエネルギーは力を持っていくように思えます。やがて、並べることに目的意識が生まれるようになるかもしれませんね。もっと遠くへとか、あそこまで並べたいという意欲の発生は、そのまま遊びの発展ともいえますね。

Mくんは、お金を直線と曲線に並べています。ミニカーも並べて大渋滞のようでした！ペグ挿しも集中してすべて埋めました。（右）

この「並べる」という遊びが、これからどう展開していくか楽しみです。



Hくんの手をご覧ください。バッグにお金をたくさん入れて、お出掛けです。その嬉しそうな表情はこちらまで幸せな気持ちにしてくれます。3枚の写真すべて、しっかりとバッグを持っているでしょ？お気に入りのものを「ずっと持っていたい」この時期。誰にも貸したくないくらい大事なこの時期。大切にしてい

たいですね。お金を使いたい友達が近くに寄ってきましたが、体をすくめて全身で拒否していました。この自己主張の姿、素敵ですね。「大切だから貸したくないよね」「嫌だよね」「使っていていいんだよ」と、その気持ちを言葉で受け止めてあげると、「自分の気持ちを出していいんだ」と感じます。

「いや」と言えることを大事にしましょう。自分が満たされること、「いや」と自己主張できることが「思いやりの育ち」の大前提として必要です。そして、人に優しくしてもらった経験にたくさん出会うことによって、自分の中で折り合いをつけていき「思いやり」は育ちます。

「かーしーて」と言ってきたお友達には、先に使っている人が優先だということをお伝えします。使えなくて残念だったけれど、納得いく他のものを大人と一緒に一生懸命探してくれた。または貸してもらえらるまで大人と一緒に待ってくれたという経験をさせてあげたいと思っています。一人ひとりの気持ちを大切に受け止め、寄り添うことを、この時期は大切にしたいです。



KくんとAくん、お母さんと学生と先生とみんなで道路をつなげました。よく考えてつなげないと、うまくいかないなあ。

ダイナミックに広げられるのも、気持ちのいいものです！



Kくんは、「これをここに貼りたい」とパーツを思うところに貼っていき、イメージがどんどん実現され、あっという間に車が出来ました。ハンドルを持って運転し、「スピードが出るボタン」「大変な事が起きた時のボタン」などなど、クレヨンでたくさんのボタンを描き、ライトも描き、本当に素敵な車が出来ました。1日目は残念ながら、ここでおしまい。十分に遊ばず、不完全燃焼のまま帰ることになりました。しかし、2日目。「体がバキバキする〜！」と言って、来てくれました。(母通訳：心がドキドキする〜！) だそうです！こんなに楽しみにしてくれて、嬉しいな！



ダンボールのトンネルの向こうで、「いない いない ばあ」と遊んでいたら、トンネルがペッチャンコにつぶれて大笑い！

大風もブワッと来たよ。

この偶然が楽しくて、何度も何度も「ペッチャンコ」して遊びました。お父さんもやさしく見守ってくれています。



1月に入って、3歳の子供たちが友だちの近くで遊ぶようになりました。偶然一緒のことをして目を合わせたり、同じテーブルで食べたり、お互いを意識しているようです。AくんもKくんも4月から幼稚園に入園します。今までお母さんに大切にしてもらい、「心の基地」になって受け止めてもらったから、自分から友だちに興味を持ち始めたのでしょうか。ここには「友だちと仲良くね」「貸してあげなさい」と無理をさせる大人はいません。自己主張を大切に、ゆっくり、ゆっくり、その子のペースで成長するのをみんなで見守ります。



Aくんシェフはみんなにご馳走してくれました。お茶も本格的に入れてくれて、家庭での様子が見えるようです。Kくんは、時間を掛けて手の込んだ料理を作り、最後には一人ひとりにイチゴクリームのカークを渡してくれました。おいしかったよ。またよろしくね。



お座りが安定してきたYくんですが、時々スローモーションで後ろに倒れていくので、ぬいぐるみに囲まれています。

家庭では、ティッシュペーパーを引き出すのに興味を示しているとのこと。お母さんは、その様子を見て「空き箱にハンカチなどを交互に入れて、引っ張り出すおもちゃを作ろうと思っている」と仰っていました。子どもの様子を見て、その興味を満たし、十分遊べるような環境を作ってあげようと考えているお母さん、さすがですね。



12月から楽器を用意してみました。トライアングルの音に耳を傾けているSくん。音色が美しいですね。確かめるように味わうように大事に音を奏でています。



「心の基地」はお母さん

子どもがお母さんと情緒的な結びつきを強めようとしているこの時期(1~3歳頃)には、何かにつけてお母さんのひざにのろうとしたり、抱っこやおんぶをして欲しいと求めます。疲れたとき、眠くなったとき、お腹が空いたとき、からだの具合が悪いときなどには、必ずスキンシップを求めます。また、夜中にお母さんの布団の中に入ってきます。おそらく怖い夢でも見たのではないかと考えられます。そして、お母さんに添い寝をして受け入れてもらえると、情緒が安定するからです。そのように甘えさせていたら甘えん坊になることはないかと心配するお母さん・お父さんもいます。そのときには、一方で自発性が順調に発達していれば、その心配は絶対ない—とお答えしています。自発性は、情緒の安定している子どもには、発達しやすいからです。(中略)

わが国では、住宅事情や火災や地震なども考慮して、とくに3歳児未満の子どもは親たちと一緒に部屋に寝かせること、そして夜中にお母さんの布団の中に入ってきたら添い寝をしてあげることが、日本の子どもの情緒の安定にとって大切ですし、それによって母子間の情緒関係がしっかりとできあがります。

この関係について、非行の研究者たちは、子どもの心に基地ができたと述べています。私は、お母さんの暖かいイメージが子どもの心に刻み込まれたと表現しています。つまり、子どもの心にお母さんの暖かいイメージが刻み込まれ、それが子どもの心の基地になっていれば、思春期以降になって家出をしたり、非行に走るようなことは絶対にないと考えています。非行に走るような子どもは、いろいろの理由によって3歳未満に心の基地ができなかったのです。

その理由としては、お母さんが病気であったとか、家族に病人ができて忙しかったとか、やむを得ない事情もありますが、独立心を育てるために、抱いたりあやしたりしなかったというお母さんがいます。また、子どもがあまり好きでないために、子どもからベタベタされるのがいやだったからというお母さんもいます。

「もっと子どもを抱いてあげてください」とお願いすると、いやな顔をしたり、「父親ではいけませんか？」などと私の提案を拒否するお母さんさえもいます。このようなお母さんのもとでは、子どもが2歳を過ぎますと、はっきりと表情の乏しさや口数の少なさが現れてきますし、抱いてくれる人なら誰でもよく、その人に抱かれてしまう状態になっている子どももいて、情緒の発達が遅れていることが私たちの目にははっきりとわかるのですが、お母さんには気がついていないし、むしろ世話の焼けない「よい子」とさえ思っている人もいます。あるいは、すでに情緒が不安定になり、落ち着きがなかったり、友達に対して叩いたり噛んだりするなど、攻撃的な行動を現している子どももいます。

そのような子どもに対して、その原因を理解して、お母さんがスキップを中心に子どもの相手をして、母子にとって楽しい生活が始まりますと、攻撃的な行動はだんだんに少なくなっていきますし、表情も明るくなり、発言も多くなってきます。そして、お友達ともよく遊ぶ子どもに変わります。

「心の基地」はおかあさん 平井信義 著 企画室 より

<2月の予定>

3日(火) プレイルーム
13日(金) プレイルーム
17日(火) プレイルーム
20日(金) プレイルーム
24日(火) プレイルーム

※ 6日(金) 10日(火)

27日(金)はお休みです。

※3月~4月10日までお休みです。

土曜日は、3月14・28日開催します。

<4月の予定>

14日(火) プレイルーム
17日(金) プレイルーム
21日(火) プレイルーム
24日(金) プレイルーム
28日(火) プレイルーム

※土曜日は、11日から

スタートします。

親と子の広場のご案内



	小さな“さくらっこ”	“さくらっこ”
日時	火・金曜日 10:30 ~ 12:00	土曜日 10:00~12:00
場所	プレイルーム	ひなぎく (時々、プレイルーム)
年齢	0歳~就園前	0歳~小学生
費用	※おうちの方と一緒に参加してください 無料(2014年度) ※親子の保険料は、本学が負担します。(2014年度)	
持ち物	特にありません ※日常、お出掛けの時に持参する飲み物や着替えなど、必要と思われるものを各自でご用意ください	
担当	桜の聖母短期大学 淋 光江 (土) 奥田美由紀 (火) (金) こども保育コース教員 ※こども保育コースの学生も勉強のため参加します。	

桜の聖母短期大学 福島市花園町3-6 ☎ 024-534-7137 (代表)